

2018年9月25～27日

7回目の石巻～女川～名取訪問記

西日本豪雨～関西圏の台風被害～北海道地震と続き、心が休まらないです。

9月4日の台風21号の被害で、関西国際空港の橋脚にタンカー船が衝突し、復旧作業中でしたが、関空へのリムジンバスと南海鉄道の開通が間に合って、今年も9月25日～27日の3日間、石巻支援学校～女川～名取支援学校への訪問に行く事ができてラッキーでした。

岩本浩弥さんのみかた残酷マラソンチャレンジの記録「遙かなるゴールをめざして」のCD（リピート山中さん作曲）とDVD（橋本頼仁さん編集）、そして、上総美帆さんご家族の思いの乗せたクリアファイル（林やよいさんデザイン）をリュックに積めての一人旅。

安田さん、白井さんとの珍道中や岩本さんとの時間を思い出しながらの雨中ドライブ、寂しさもあり。でも、良き仲間のつながりのおかげで、今年も続けて来られたことに感謝！

矢本の休憩所で買いたいなり寿司をほおぼりながら、昼過ぎに石巻支援学校へ。

昨年もお世話になった門脇校長先生はじめ、先生方に温かく迎えてくださいました。

今回は小学部児童さん10数人との特別授業をFBMで指導してさせていただきました。あいさつと自己紹介をした後、ボールを使って腰かけ姿勢にチャレンジ。姿勢の整えるポイントを伝えながら見本を示して、先生と一緒に少しずつ姿勢を整えて、腰を立てて安定して座る、バランス練習をする体験をしました。子どもたちは、最初は少し不安で緊張をしていますが、先生方の声かけやサポートがうまくできるようになるとともに、いい表情を見せてくれるようになりました。背中が伸びて自分で首を持ち上げたり、足底が床にしっかりついて座ることができはじめたりする子どもの変化にビックリでした。続いて、ボールにうつ伏せ姿勢で乗る練習もしました。ボールにからだをあずけて、呼吸が落ち着いてくると、からだの緊張がゆるんでくることも体験してもらいました。手や足で支えてじょうずに支えたり、頭を持ち上げたりと、積極的に自分のからだを使ってくれる子どももいました。

先生方にも褒めてもらってにっこり。短時間でしたが、子どもたちに「できた」喜びを感じてもらえる機会になれたようで、とても嬉しかったです。

保護者の方も参観してくださり、ありがとうございました。ふわふわボールを使って子どもたちとの日々のかかわりや子育てに、役立ててもらえること願っています。

その後、旧女川第一小学校校舎1階にあるコラボ・スクール「女川向学館」＝女川の子どものための！放課後学校“＝の見学へ。2年ほど前から認定NPO法人カタリバの活動とのつながりができて、出発前に「女川向学館」の報告を届けてもらったので、ぜひ行ってみたいと思ってしまったのです。急な依頼にも関わらず、丁寧に応対してくださり、感謝！

ジュニアマネージャーの多田有沙さんが、3.11の大震災からの「女川向学館」の歩みや子どもたちの様子の映像紹介と説明をしてくださり、改めて、被災状況の厳しさと子どもたちの心の変化、内面の葛藤、成長、そして、未来への希望も感じてきました。

「女川向学館」では、子どもたちが自由に学習したり、くつろげるスペースも設けられたりして 있었습니다。「何もしなくてもいい場所や空間」があることで、心のエネルギーが補給できて心の成長には欠かせないですね！

授業場面では、小学1年生から3年生の学習の様子を見せていただきました。「花まる学習会」の方式を取り入れて、子どもたちの先生との闊達なやりとりの中で、協力し合い競い合っている様子を見ることができました。子どもたちの生き生き笑顔が良かったです！

復興住宅から通う子どもたちも多く、必要なサポート継続しておられる認定NPO法人カタリバのスタッフの熱気が伝わってきました。

< 女川向学館だより 2018年冬号より >

まちの小学生の約40% 中学生の約50%が、女川向学館を利用中！
女川向学館は、女川の子どもたちのための「放課後学校」です。
私たちは、『どんな環境に生まれ育っても未来は創り出せると信じられる社会』をビジョンにかかげ、子どもたちの学習サポートからキャリアを考えるきっかけの提供まで、多様なプログラムを届けています。

2日目の午前中は、伊勢知那子さんとのFBM。今年も会えて良かった！

訪問リハに来てくださっている2名の理学療法士の先生も来てくださり、知那子さんとのFBMでのかかわりを見てもらいました。知那子さんと一緒に家庭でもできることを中心に、からだを緩めたり、姿勢を整えたりするかわりありの体験もしてもらいました。これからの訪問のプログラムに取り入れてもらえそうで、彼女のからだにいいかわりが続いて行くこと期待しています。 また、来年も元気に会いましょう！



<伊勢知那子さんとのFBM>



午後からは名取支援学校への訪問。

プレイルームでの子どもたちとFBMのかかわりがスタート。安全を第一に、小さいボールを使って、からだほぐしから、さまざまな大きさのボールを使っての姿勢保持や動きづくり等、一人ひとりに合わせたFBMを試みました。FBMの基本となる「タッチ」「フィール」「トライ」のかかわりや目的に合わせてボールのサイズや空気の量の調整することを伝えて、子どもたちの自立活動や毎日のかかわりに活用してもらえるようにしました。

放課後には、希望の先生方にFBMの体験研修を行いました。ペアになって小さいボールを使ったからだほぐしから、手の触れ方や呼吸を感じる事等、お互いのからだの感じ合いをしていただきました。FBMは、自分のからだで、子どもたちの心地よさや動きを感じることができるので、より子どもたちに寄り添った支援ができます。空気量を少なく調整したボールを活用してぜひ、継続して取り組んでもらえること期待しています。

3日目も子どもたちとの個別のFBM。緊張が強くからだが堅い生徒が、四つばい姿勢でゆったりとボールにからだをあずけることができるようになり、眠りかける程にリラックスできました。また、仰向けになるのが苦手な生徒が、2個のボールと一緒に座って動いている内に、徐々にボールに慣れて仰向け姿勢になれるようになりました。ボールを投げて気を引く動きが多かったので、柔らかいボールの受け渡しができる、握手ができるというかかわりに代える様に働きかけを楽しんでいると、少しずつできるようになってきました。このように、子どもの行動を丁寧に観て、認めて、楽しいかかわりあうことを通して、できることを広げて行けるといいですね。

指導に終了後には、先生から児童の相談を受けて、ボールを使った姿勢の安定のさせ方やバランス感覚を育てるアプローチと一緒に考えることもできました。明日からの子どものかかわりに生かしてもらえること期待したいです。

佐藤校長先生、今年も担当して下さった松平幸子先生はじめ、名取支援学校の先生方に色々お世話になりありがとうございました。

初日の夜には、片岡明恵先生と門脇校長先生と3人での会食。仙台の旬の食材と手間をかけた美味しい料理に舌鼓。今年もご馳走になりありがとうございました。

また来年（第8回目）も訪問ができるように願っています。

2018年 秋

文責 FBM研究会 大島昇

Ps. 今年もクリアファイルや絵葉書の協力金やカンパ等から、石巻支援学校と名取支援学校にボールを届けることができました。

Ps. 「1000年後のいのちを守るプロジェクト」HPを参照して下さり、活動の理解と協力をしていただけると嬉しいです！